

平成 25 年度 東京都内湾水生生物調査 6 月鳥類調査 速報

●実施状況

平成 25 年 6 月 10 日に鳥類調査を実施した。天気は曇、気温 24.0～25.3℃、東南東～南南西の風、風速 1.9～2.9m/s であった。当日は大潮で、潮位は 11 時 58 分 干潮(18cm)、18 時 26 分 満潮(186cm)であった(気象庁東京検潮所)。各地点の状況を下表に示す。

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
作業時刻	12:00-12:50	8:45-9:45	10:15-10:55
天候	曇	曇	曇
気温(℃)	24.6	24.0	25.3
風向	南南西	東南東	南南西
風速(m)	2.9	1.9	2.6
備考	干潟が広く干出し、水溜りが多くできていた。 ヨシ原でオオヨシキリが多数さえずっていた。	砂浜、船着場、磯浜付近を散策する人が見られた。 船着場の護岸、磯浜でネズミ類が見られた。	干潟が広く干出ししていた。

●主な出現種等

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
数が多かった鳥類上位2種	カワウ(210羽) ウミネコ(17羽)	カワウ(1131羽) コサギ(47羽)	カワウ(259羽) コアジサシ(13羽)
その他の鳥類	カルガモ、スズガモ、カンムリカイツブリ、アオサギ、コサギ、シロチドリ、コアジサシ	カルガモ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、ハクセキレイ	カルガモ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、コチドリ、シロチドリ、ウミネコ
備考	<ul style="list-style-type: none"> カワウ、ウミネコが干潟で休息。 カルガモ、サギ類、シロチドリが干潟で採餌。 干潟の汀線際でコアジサシが採餌。 重要種として、6種を確認(スズガモ、カンムリカイツブリ、コサギ、シロチドリ、コアジサシ)。 ハヤブサ(調査対象外)が干潟で休息していた。 	<ul style="list-style-type: none"> 第六台場や鳥の島の樹林、護岸では、1000羽以上のカワウを確認。巣に座っているカワウは極めて少ない。幼鳥が多い。 アオサギ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギは樹上で繁殖しており、雛や幼鳥を確認。コサギの雛、幼鳥が多い。 重要種として、2種を確認(ダイサギ、コサギ)。 	<ul style="list-style-type: none"> カルガモ、カワウ、コアジサシは干潟で休息。 アオサギ、ダイサギ、シロチドリは干潟で採餌。 干潟周囲の浅瀬でコアジサシ、カワウが採餌。 コサギ、コチドリは護岸で採餌。 重要種として、5種を確認(ダイサギ、コサギ、コチドリ、シロチドリ、コアジサシ)。

●出現種と個体数

No.	目名	科名	種名	調査時期 5月			調査時期 6月			重要種 選定基準				
				葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	文化財保護法	種の保存法	環境省RL 2006鳥類	東京都RL 2010(区)	
1	カモ	カモ	カルガモ	5	7	8	9	11	8					
2			スズガモ	4			6						*	
			カルガモ雑種**				1							
3	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	3			3						*	
4	カツオドリ	ウ	カワウ	102	666	84	210	1131	259					
5	ペリカン	サギ	ゴイサギ		1			2						
6			アオサギ	8	35	1	7	32	4					
7			ダイサギ	1	6			3	1				VU	
8			コサギ	2	4	1	2	47	1				VU	
9	チドリ	チドリ	コチドリ	1		1			2				VU	
10			シロチドリ	8		5	4		2			VU	VU	
11		ミヤコドリ	ミヤコドリ	26									EN	
12		シギ	オオソリハシシギ	1									VU	EN
13			チュウシャクシギ	2		1								VU
14			ダイシャクシギ	1										CR
15			キアシシギ		5	1								VU
16			イソシギ				2							VU
17			キョウジョシギ			4	1							VU
18			トウネン	1										NT
19			カモメ	ユリカモメ	2	2	28							
20		ウミネコ			2	1	17		2					
21		セグロカモメ					1							
22		オオセグロカモメ		2		1								
		大型カモメ**		1										
23		コアジサシ		42				3		13		国際	VU	EN
24		アジサシ	378											
25		タカ	ミサゴ	ミサゴ	1								NT	EN
26	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ					1						
確認種数	7目	10科	26種	19種**	10種	14種	9種***	7種	9種	0種	1種	4種	16種	
合計個体数				591	732	136	262	1227	292					

和名、種の配列は、日本鳥学会(目録編集委員会)(編)(2012)『日本鳥類目録改訂第7版』日本鳥学会に準拠した。

※:大型カモメに分類されるセグロカモメ、オオセグロカモメが確認されているので「大型カモメ」は確認種数に数えない。

※※:カルガモとオナガガモの雑種と思われる個体。両種の特徴を持つ。確認種数には数えない。

種の保存法 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」において指定されたもの

国際:国際希少野生動物

国内:国内希少野生動物

環境省RL 環境省(2012)報道発表資料『第4次レッドリストの公表について(お知らせ)』において選定されたもの

VU:絶滅危惧II類 絶滅の危険が増大している種

NT:絶滅危惧II類 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

東京都RL 東京都環境局(2010)「東京都の保護上重要な野生生物種(地域名)」の区部において選定されたもの

CR:絶滅危惧IA類 ごく近い将来における野生での絶滅の危険が極めて高いもの

EN:絶滅危惧IB類 IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

VU:絶滅危惧II類 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧I類」のランクに移行することが確実と考えられるもの

NT:準絶滅危惧 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの

*:留意種 現時点では絶滅のおそれはないと判断されるため、上記カテゴリーには該当しないものの、留意が必要と考えられるもの

前回の調査(平成 25 年 5 月 8 日)と比べ、シギ・チドリ類、アジサシ、カモメ類など、日本よりも北方で繁殖する旅鳥、冬鳥は減少した。カワウ、コサギの個体数は増加した。(参考文献 1)
昨年度は 6 月に調査を行っていないため、今回の調査結果とは比較できなかった。

お台場海浜公園の第六台場、鳥の島のカワウの巣では、巣に座り込む親鳥は極めて少なかった。樹上や護岸で休息する幼鳥は、前回の調査時よりも多かった。葛西人工渚、森ヶ崎の鼻でもカワウの個体数が増加した。

第六台場のサギ類のコロニー(集団営巣地)について、前回の調査ではアオサギが最も多かったが、今回の調査ではアオサギの個体数は減り、コサギの個体数が増加、雛、幼鳥の姿も確認された。ゴイサギ幼鳥、ダイサギ雛も確認された。

森ヶ崎の鼻に隣接する東京都水再生センターの施設屋上で、コアジサシの生息環境の保全・再生事業を行う「特定非営利活動法人リトルターン・プロジェクト」の web ページの情報によると、今年はコチドリ、シロチドリ、コアジサシの繁殖が確認されている(参考文献 2、3)。今回の調査で確認された、干潟で休息、採餌するシロチドリ、コアジサシ、干潟周辺の護岸で採餌するコチドリは、東京都水再生センターの施設屋上を繁殖地として利用している個体の可能性が考えられる。

ヒナを連れたカルガモが葛西人工渚、森ヶ崎の鼻で確認された。

調査対象の鳥類ではないが、ハヤブサが葛西人工渚の干潟で休息していた。休息するハヤブサに対してコアジサシがモビング(偽攻撃:小鳥などが、群れをなしてワシタカ類やフクロウなどの猛禽類に攻撃をしかけ、威嚇して相手を追い払う行動)を行い、ハヤブサは干潟から護岸へ移動した。



カルガモの親子(葛西人工渚)
2羽の雛を連れて干潟で採餌する。
森ヶ崎の鼻でもカルガモの親子(雛は1羽)が確認された。



ゴイサギ(左)とコサギ(右)の幼鳥(お台場海浜公園：第六台場)
コサギの成鳥の足は鮮やかな黄色だが、幼鳥の足は淡い黄緑色。



コサギの雛(お台場海浜公園：第六台場)
首をのばし周囲を見る。くちばしが黒く、頭部に綿毛が残る。



ダイサギの雛(左)と成鳥(右)(お台場海浜公園：第六台場)
雛の頭部に綿毛が残る。コサギと比べてくちばしは黄色い。
成鳥の目先は、婚姻色の青から黄色に変化している。



コチドリ(森ヶ崎の鼻)
護岸で休息する成鳥。
目の周りの濃い黄色、胸元の黒い帯が特徴。

参照文献一覧

- 1 東京都環境局水環境課、平成 25 年度 東京都内湾水生生物調査 5 月鳥類調査 速報、http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/water/tokyo_bay/attachement/H250508%E9%B3%A5%E9%A1%9E%E8%AA%BF%E6%9F%BB%E9%80%9F%E5%A0%B1.pdf、(2013/6/17)
- 2 littletern、6 月 8 日(土) 第 4 回営巣地調査、NPO 法人 リトルターン・プロジェクト、2013/6/10、<http://d.hatena.ne.jp/littletern/20130610/1370871842>、(2013/6/17)
- 3 littletern、森ヶ崎屋上営巣地に於けるカラス対策について、NPO 法人 リトルターン・プロジェクト、2013/6/12、<http://d.hatena.ne.jp/littletern/20130612/1371050833>、(2013/6/17)